

# 解説 します 島原市 お財布事情



## 平成 25 年度予算が決まりました

平成25年度の予算編成に当たっては、「市民目線に立った、オンリーワンの島原市」の実現を目指し、7つの施策に重点を置いた内容としています。

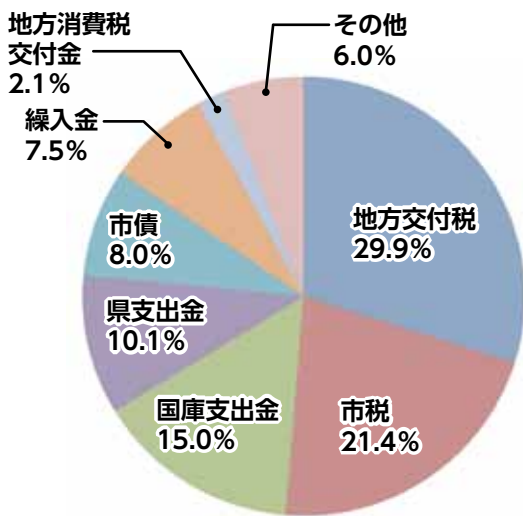
**一般会計 209億9692万円**  
(前年度比 2.9%減)

**特別会計 88億6965万円**  
(前年度比 1.6%増)

### 市民目線に立った、オンリーワンの島原市の実現

- ① 市民目線に立った行財政改革の推進
- ② 産業の振興と島原地域ブランドの確立
- ③ 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大
- ④ 子育てにやさしいまちづくり
- ⑤ 高齢者や障がい者などを思いやる福祉の充実
- ⑥ 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実
- ⑦ 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

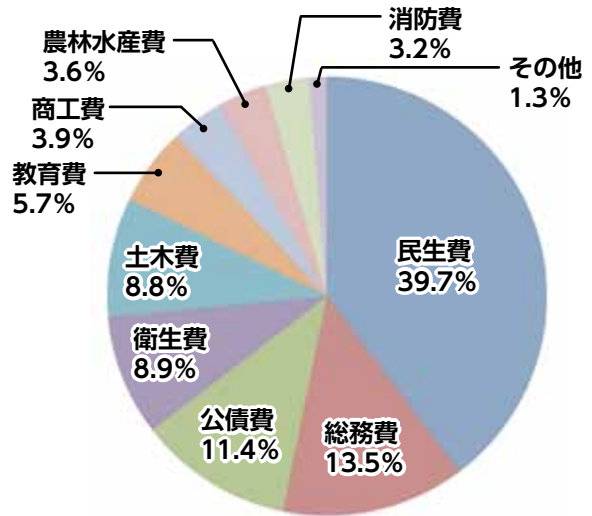
### 一般会計 歳入



総額	209億9692万円
地方交付税	62億7000万円
市税	45億67万8千円
国庫支出金	31億4222万円
県支出金	21億3395万8千円
市債	16億7940万円
繰入金	15億6967万5千円
地方消費税交付金	4億4000万円
その他	12億6098万9千円

- ・自主財源 (市税、繰入金など) ……33.1%
- ・依存財源 (地方交付税、国庫・県支出金など) …66.9%

### 一般会計 歳出



総額	209億9692万円
民生費	83億2610万1千円
総務費	28億2961万9千円
公債費	23億9573万7千円
衛生費	18億7787万1千円
土木費	18億4631万7千円
教育費	11億9124万6千円
商工費	8億2271万9千円
農林水産業費	7億4906万4千円
消防費	6億8171万5千円
その他	2億7653万1千円

## 市民1人当りに使われる「予算」

市民1人当りに使われる金額がいくらになるか、主な費目ごとに表しています。  
1人当たりの合計額は、437,947円になります。

<p><b>民生費 173,663円</b></p> <p>障がい者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護などに必要なお金</p> 	<p><b>総務費 59,019円</b></p> <p>市の管理事務や企画、選挙事務、文化・スポーツの振興などに必要なお金</p> 	<p><b>公債費 49,969円</b></p> <p>公共施設整備などのために借りた市債の償還に必要なお金</p> 
<p><b>衛生費 39,168円</b></p> <p>健康増進、母子保健、廃棄物処理、公害対策などに必要なお金</p> 	<p><b>土木費 38,510円</b></p> <p>道路、公園、市営住宅の建設・管理などに必要なお金</p> 	<p><b>教育費 24,847円</b></p> <p>学校教育・社会教育の振興、文化財保護などに必要なお金</p> 
<p><b>商工費 17,160円</b></p> <p>観光事業や商工業の振興に必要なお金</p> 	<p><b>農林水産業費 15,624円</b></p> <p>農林水産業の振興に必要なお金</p> 	<p><b>消防費 14,219円</b></p> <p>消防や防災事業など、市民の安全のために必要なお金</p> 

## 「市税」と「市債」の市民1人当たり・1世帯当たりの負担額

- ▶ **市税**…市民の皆さんから市に納められる税金で、市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税など
- ▶ **市債**…特定の建設事業を行うに当たり、その費用を賄うため銀行などから借りるお金のこと

ここでは、市税と市債の1人当たりおよび1世帯当たりの負担額がいくらになるかを表しています。

市税・市債	1人当たり	1世帯当たり
市税の負担額	79,790円	200,580円
市債の負担額	391,422円	983,972円

※平成25年3月末日現在の人口と世帯数（人口47,944人、世帯数19,072世帯）で算出

※市税は、個人市民税・固定資産税（交付金納付金は除く）・軽自動車税・都市計画税の調定額の合計で、滞納繰越分を除いて推計。市債は、平成25年度末現在高見込額より推計

## 平成25年度 特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合に、一般会計とは別に、その経理を明らかにするために設けた会計です。

会計別	予算額(千円)	会計別	予算額(千円)
国民健康保険事業	7,677,284	島原都市計画事業安中土地区画整理事業	845
温泉給湯事業	81,903	有明町簡易水道事業	552,659
交通災害共済事業	14,217	後期高齢者医療	542,745

# 平成 25 年度の主な事業

「市民目線に立った、オンリーワンの島原市」を目指す  
主な事業を、7つの施策ごとに説明します

## 1 市民目線に立った行財政改革の推進

- 新庁舎整備事業 5779 万円



災害時の防災拠点として、また市民サービスの向上や行政運営の効率化を図るための新庁舎整備を行います

## 2 産業の振興と島原地域ブランドの確立

- 島原市肉用牛導入支援事業 480 万円



日本一となった「長崎和牛」のブランド化に向けた取り組みを行います

- 地域農業活性化支援事業 500 万円
- 企業立地促進・雇用創出事業 1 億 3698 万円

## 3 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

- 武家屋敷駐車場整備事業 1580 万円



武家屋敷駐車場を新たに整備し、観光客の増加および混雑緩和を図ります

- 島原情報マイスター養成講座 111 万円
- 島原城整備事業 2200 万円

## 4 子育てにやさしいまちづくり

- すこやか赤ちゃん支援事業 1446 万円



第2子以降のおむつ購入費用を助成することで、多くの子どもを産み育てられる環境の向上を図ります

- すこやか子育て支援事業 4639 万円
- 予防接種事業 1 億 5583 万円

## 5 高齢者や障がい者などを思いやる福祉の充実

- 高齢者福祉交通機関利用助成事業 3672 万円



高齢者が利用する列車・バス・タクシーの料金を一部助成し、高齢者の自立支援、地域交通の振興を図ります

- 自立支援医療費（育成医療）事業 200 万円
- 生活習慣病予防対策 4621 万円

## 6 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

- 校庭芝生化事業 76 万円



児童の健全な育成と地域密着の交流拠点として、学校校庭の芝生化に取り組みます

- 学校司書配置事業 905 万円
- 小学校教育用コンピュータ等更新事業 5690 万円

## 7 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

- 陸上競技場改修工事 2 億円



日本陸上競技連盟第二種公認継続に向け、陸上競技場の施設整備を図ります

- 島原市地域おこし協力隊推進事業 509 万円
- 新田排水施設整備事業 4500 万円

※本ページ中、赤色表記の事業は平成 25 年度に取り組む新規事業です

※「平成 25 年度当初予算概要」および「主要事業説明書」の詳しい内容は、市ホームページで見ることができます

URL : <http://www.city.shimabara.lg.jp/>

問い合わせ先 経営管理グループ財政班  
(☎ 63-1111 内線 156)